



第451号 平成28年2月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 林 鐘 声

第46回全国学校保健・学校医大会 特別講演

「ピロリ菌検査の学校検診への導入：胃癌撲滅にむけて」

副会長 井本 雅美

第46回全国学校保健・学校医大会が、平成27年12月5日(土)に愛媛県松山市で開催されました。例年11月に開催されていましたが、今年は12月開催となりました。午前中は松山全日空ホテルで各分科会の発表、昼食をはさんで午後は愛媛県医師会館でシンポジウムと特別講演がありました。ここではその特別講演について書きたいと思います。今年の特別講演は、松山赤十字病院 胃腸センター 消化器内科部長 蔵原晃一先生による、ピロリ菌検査と除菌療法に関する内容でした。

1983年にHelicobacter pylori (HP) 菌(ピロリ菌)が発見されて以来、ピロリ菌が胃癌など各種疾患の発症・増悪に関与していること、さらにピロリ関連疾患が除菌療法によって治療・予防されることが明らかになってきましたが、今回初めて学校保健、学校検診という角度からの講演を聴きました。

ピロリ菌がヒトの粘膜に感染すると、生涯にわたり慢性の活動性胃炎が惹起され、長期の経過をたどり萎縮性胃炎、腸上皮化生へと誘導され胃癌の発生母地を形成します。また大部分の胃癌がピロリ菌感染による慢性萎縮性胃炎、腸上皮化生を背景因子として発生するため、胃癌の二次予防、さらに一次予防(HP感染胃炎)に除菌療法が保険適応となっています。この除菌療法による胃癌発症抑制効果は若年ほど高いこと、加えて未婚女性への除菌は母子感染予防にもつながるといった観点から、若年者に対するピロリ菌検診と除菌療法が構想されたとのことです。2004年に兵庫県篠山市の全中学1年生全員(366人)にピロリ菌検査が開始されて以来、学校検診へ導入する自治体が広がってきており、現時点において1府6県7市1町で導入されていると発表されていました。

現行の方法としては、一次スクリーニングに尿中

HP抗体、二次スクリーニングに尿素呼気試験か便中HP抗体を測定し、内視鏡検査は未施行で、保険外診療で除菌療法を行うというものです(内視鏡検査施行例は保険診療で除菌)。検診対象が中学生であるかあるいは高校生であるかは自治体によって異なります。また年齢によって感染診断の閾値や除菌療法の適応などに違いが出てくる場合がありますが、いずれにせよ、ピロリ菌検診の学校検診への導入は、

- ①胃癌発症リスク抑制効果が高い
- ②次世代への感染予防策として最も効果的な方法
- ③10代のピロリ菌感染率は5%以下と推定され、費用の観点からも導入可能
- ④費用対効果に優れ、社会的にも大きな効果が期待できる

と考えられ、各自自治体での議論、環境整備を積み重ねつつ今後全国でも導入が望まれる、と締めくくられました。

京都における取り組みについては、先日京都府医師会館での講演会で京都府立医大消化器内科より報告がありました。昨年4月より3つの私立高校1年生734人を対象に、同意を得られた615人に一次スクリーニングとして尿中抗体検査を、二次スクリーニングとして便中抗体検査が行われた結果、全体の4.2%(3校の平均)が陽性であり、陽性者に除菌が行われたとのことです。この事業は京都府健康対策課の胃がん予防事業であり、現時点で京都市教育委員会や京都府教育委員会が関わっているものではありませんが、今後の展開が注目されます。

感染診断の制度や薬剤耐性の問題、除菌後の経過観察の方法、また制度や費用など様々な課題があると思いますが、ピロリ除菌による「胃がん撲滅」が期待されています。

平成27年度 第46回全国学校保健・学校医大会（愛媛県松山市）

第1分科会 学校健診・学校教育・生活習慣病に参加して

西京高等学校 杉本英造

- 愛媛県の学校保健について、学校医と養護教諭へのアンケート調査結果
愛媛県医師会 中 眞一
一年何回出務したか？ 1～3回：37%
4～6回：40%
健康管理委員会出席した：32%
存在を知らない：19%
学校医・養護教諭とも健診マニュアルの作成を希望する
- 効果的な学校健診を行なうための定式化の試み
愛媛県医師会 長尾 秀夫
特別支援学校での健診。事前アンケート、診察は定式化（あいさつから診察手順を同じにして児童に安心感を与える）、配慮必要な管理指導票を保護者に依頼、食物アレルギーは栄養教諭が担当し連携する。
- 児童生徒の喫煙防止教育と禁煙治療の工夫
愛媛県医師会 加藤 正隆
学校薬剤師が担当することが多いが、連携し視覚的に煙害を教育していく
- 当院における子ども虐待防止活動と他機関との連携について
愛媛県医師会 山本 英一
医療がリーダーシップをとり多職種間で連携をとることが重要
- 長野県飯田医師会域内で実施された過去8年間の学童検診から～脂質パラメータの統計学的評価とBMIとの相関について～
長野県医師会 原 政博
脂質異常は男児＞女児。BMIが上昇すると中性脂肪高く、HDL低下。
採血時間は午前10までに採血するとTGは高くなる。
- 学校メンタルヘルス活動に対する子どもの思いと自殺予防活動 三重県医師会 長尾 圭造
アンケートにより希死念慮のある中学生（69名中60%）「本当は秘密にしておきたかった」ことを表出することで自殺予防に役立つのではないか？
- 「次世代の健康教育について」
沖縄県医師会 石川 清和
長寿沖縄が生活習慣病により失われつつあることに憂慮し、中学生に食育読本作成
- 「多職種協同による児童・生徒への健康教育—佐賀県医師会の試み—」
佐賀県医師会 徳永 剛
人工中絶全国ワースト1から10へ。性教育の効果
- 地区医師会学校医部会と幼稚園・保育園との連携について 和歌山県医師会 大谷 和正
感染症の登園基準、水イボへの対処、食物アレルギーへの対応、発達障害相談を園医の個人判断にせず医師会として対応する。
- 愛知県東海市在住の小中学生に対して行った「生活習慣病予防のための健常小児基礎データの収集」と「肥満小学生に対する介入試験」から得られた知見 愛知県医師会 稲坂 博
肥満度20%以上の小学生に、休日に1万歩以上歩く、TV・ゲーム時間を金：1.5時間、土日：2.5時間以内に制限することが肥満減少に有効であった。
- 新しく開始した徳島県医師会認定学校医制度について 徳島県医師会 田山 正伸
年5回研修会を開催し、会場出席だけでなくWeb聴講も認め4年毎更新。
学校医の意識・資質向上だけでなく、養護教諭にも参加を認めて、健康教育に役立った。

第46回全国学校保健・学校医大会

第2分科会講演について

葛野小学校校医 竹内 宏一

1. 当院でのエピペン処方症例ー学校との連携を通してー
愛媛県医師会 小泉 宗光
2. 愛媛県の学校検尿の現状と今後の方向性
愛媛県医師会 上田 晴雄
3. 松山小児科会メーリングリストを利用した松山周辺地域の小児インフルエンザ流行状況の調査
愛媛県医師会 吉田 和弘
4. 愛媛県における食物アレルギー対策活動
愛媛県医師会 久寿 正人
5. 第47回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会と開催に伴って実施した小児生活習慣病予防検診に関する調査結果について
広島県医師会 渡邊 弘司
6. 静岡県における学校検尿三次検診での尿蛋白・尿クレアチニン比の検討
静岡県医師会 和田 尚弘
7. 小学生の縦断的調査からみた学童期アレルギー症状の変化
滋賀県医師会 楠 隆
8. 中学生を対象としたピロリ菌検診と除菌治療ー岡山県真庭市医師会の取り組みー
岡山県医師会 近藤 秀則
9. 学校心臓検診におけるQT間隔の測定～特にQT間隔延長を示した症例について
愛知県医師会 長嶋 正實
10. 大阪市立学校心臓検診の体制改革ー旧大阪方式から新大阪方式へー
大阪府医師会 村上 洋介
11. 食物アレルギー・アナフィラキシー用「学校生活管理指導表」作成のための「問診票」の導入とエクセルソフトの開発
奈良県医師会 高橋 泰生

第2分科会は（からだところ）と題して、アレルギー、学校検診、感染症という内容であった。アレルギーに関しては、エピペンの処方例、学校との連携を通して、縦断的調査からみたアレルギー症状の変化、食物アレルギー対策活動、アレルギー、アナフィラキシー用の生活指導表のための「問診票」の導入とエクセルソフトの開発等であった。感染症では松山周辺地域の小児インフルエンザ流行状況調査の一題のみ。学校検診では、心臓検診、検尿に関する演題等合計11題だった。その大きく分けて3つの学校検診の演題中「中学生を対象としたピロリ菌検診と除菌治療」が印象的であった。特別講演にも「ピロリ菌検査の学校検診への導入、胃癌撲滅にむけて」がとりあげられていた。

ピロリ菌は1984年オーストラリアで初めて人の胃粘膜から分離・培養され各種上部消化器疾患や全身疾患の発症増悪に関与していることは知られている。中高年齢者は感染率は70%以上で50才代前半以下では感染率は低下するものの若年代での感染は持続感染するようである。幼児の感染は既感染の母親からの感染が多いということにも驚いた。学校検診の検尿にてピロリ菌の尿中抗体をチェックし、二次検診で便中抗原検査、尿素呼気試験を実施していくというのである。すでに松山では実施されていて他にも数県で行われているようだ。この方法が実施拡大されれば、社会的な経済効果も期待され、学校検診への導入が大きな予防疾病治療に結びつくものと感激と戸惑いを抱いて帰京した。

第 8 回 常任理事会

平成28年1月9日

於：ふく正

出席者 林会長，竹内・井本副会長，杉本専務理事，東道・大久保・山内・安野・川勝各常任理事，佐野眼科学校医会副会長，鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事，奥村副議長，長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 12/1, 12/8, 12/15, 12/22, H28 1/5
2. 第46回 全国学校保健・学校医大会 12/5
於：愛媛県松山市
3. 精神衛生研究会 12/10
4. 第30回 京都市小学校「大文字駅伝」大会事前
検診 12/12, 12/19
5. 心臓相談（水中心電図） H28 1/6
6. 一般社団法人京都府歯科医師会平成28年互礼会
H28 1/6
7. その他

<協議事項>

1. 第30回 京都市小学校「大文字駅伝」大会
出務医について 2/14
於：京都勧業館みやこめッセ
2. 平成27年度 日医学校保健協議会
参加者について 2/21 於：日本医師会館
3. 新任校医研修会 講師について 3/31
於：こどもみらい館
4. 全理事会について
5. 第67回 指定都市学校保健協議会
出務について 5/28～29 於：静岡市
6. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 1/12, 1/19, 1/26, 2/2
2. 精神衛生研究会 1/14
3. 第9回 常任理事会 2/6
4. その他

第 9 回 常任理事会

平成28年2月6日

於 事務局

出席者 林会長，竹内・井本副会長，杉本専務理事，東道・山内・安野・川勝各常任理事，佐野眼科学校医会副会長，奥村副議長，長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 1/12, 1/19, 1/26, 2/2
2. 精神衛生研究会 1/14
3. 第64回 近畿医師会連合学校医連絡協議会総会
1/24 於：シェラトン都ホテル大阪
4. 平成27年度 京都府医師会学校医部会総会
1/28 於：京都府医師会館
5. 京都市立小の給食で使用しなくなったアルマイ
ト食器をカンボジアの学校に寄贈
(平成28年2月6日：京都新聞市民版に掲載
竹内副会長)

<協議事項>

1. 新任校医研修会について 3/31
於：こどもみらい館
2. 全理事会について 4/7
3. 第47回 全国学校保健・学校医大会
出務について 10/29 於：北海道札幌市
4. 準会員について：学校医会ニュース配布
5. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 2/9, 2/16, 2/23, 3/1
2. 京都市中学校秋季総合体育大会 ラグビーフ
ットボール種目 2/13 竹中健先生,
2/20 十倉孝臣先生 於：宝ヶ池球技場
3. 一般社団法人京都府医師会新春賀詞交歓会
2/13 於：ホテルグランヴィア京都
4. 第30回 京都市小学校「大文字駅伝」大会
2/14 於：京都勧業館みやこめッセ
5. 精神衛生研究会 2/18
6. 平成27年度 日医学校保健協議会 2/21
於：日本医師会館
7. 京都整形外科医会理事会 2/27
於：京都リサーチパーク 4号館
8. 東山支部会 2/28
9. ワンポイント相談 3/3, 3/17
10. 校医・小児科医感染症講演会 3/5
於：ANAクラウンプラザホテル
11. 第10回 常任理事会 3/5
12. その他